

# 50歳からの带状疱疹ワクチン 接種費用を助成しています

町では、昨年度から带状疱疹ワクチン<sup>たいじょうほうしん</sup>の接種費用を助成しています。今年7月までに206人の申し込みがあり、現在も受け付けています。带状疱疹について知り、予防しましょう。

## 保健現場 レポート

福祉保健課

保健師

梅林千恵

427

### 带状疱疹とはどんな病気？

体に赤い発疹が出てきて、痛みは徐々に増していきます。症状の多くは上半身に現れ、顔、目、頭などに現れることもあります。

带状疱疹の原因は、多くの人が子どもの時に感染する「水ぼうそう」のウイルスです。ウイルスは、水ぼうそうが治った後も体内（神経節）に潜んでいて、過労やストレスなどで免疫力が低下すると、再び活性化して、带状疱疹を発症します。日本人成人の90%以上の人はウイルスが体内に潜んでいて、80歳までに約3人に1人は带状疱疹になるといわれています。発症すると、皮膚の症状だけでなく神経にも炎症を起こし、痛みが現れます。神経の損傷がひどいと、皮膚の症状が治った後も痛みが続くことがあります。50歳以上で带状疱疹を発症した人のうち約2割の人は、3か月以上痛みが続くといわれています。また、目や耳などに後遺症が残ることもあります。

日頃から体調管理を心がけ、免疫力が低下しないようにすることが大切です。

もし、「带状疱疹かな？」と感じたら、早く医療機関を受診しましょう。抗ウイルス薬による治療が行われますが、発症早期に開始するほど効果的だといわれています。

### 带状疱疹はワクチンで 予防できます

带状疱疹は、ワクチン接種によって発症や重症化を予防することができます。今までに带状疱疹にかかったことがある人も、ワクチン接種を受けることができます。ワクチンには、生ワクチン（1回接種、副反応が少なく）と不活化ワクチン（2回接種、効果が長く続く）の2種類があり、それぞれ特徴があります。医療機関によって、取り扱うワクチンの種類や接種料金等が異なりますので、あらかじめ医療機関に問い合わせて、予約をしてください。

带状疱疹ワクチンは、予防接種法に定められた予防接種ではなく、任意の予防接種です。効果や副反応などをよく理解したうえで、接種を受けてください。任意の予防接種によって健康被害が起こったときは、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法による救済制度の対象となります。

### 带状疱疹ワクチン 接種費用助成について

費用助成の概要は、次のとおりです。

- 1、対象者…50歳以上の町民
- 2、自己負担額…1回につき5千円

（接種料金は医療機関によって異なりますが、不活化ワクチンの場合、1回2万2千円前後です）

- 3、医療機関…ワクチンを受ける医療機関の指定はありません。
- 4、助成方法…

【日南病院・日野病院で接種を受ける場合】

- ①福祉保健課に電話で申し込んでください
- ②ワクチン接種の窓口負担額が5千円になる「助成券」を郵送します。

- ③ご自身で医療機関に予約をし、助成券を提出して、ワクチン接種を受けてください。

※助成券の対象となるのは、不活化ワクチンのみです。

【その他の医療機関や生ワクチン接種を受ける場合】

- ①医療機関で全額を支払っていただいた後、申請により、指定口座に助成額を振り込みます。

- ②申請窓口…福祉保健課

- ③必要なもの…

・領収書 ・診療明細書 ・印かん  
・振込先口座がわかるもの（通帳）

申込み・問合せ

带状疱疹ワクチンや費用助成について、  
申し込み・問い合わせは、

福祉保健課

電話 8210374まで

